



水系

シラン系浸透性吸水防止材

コンフィックスSM-7W

F☆☆☆☆

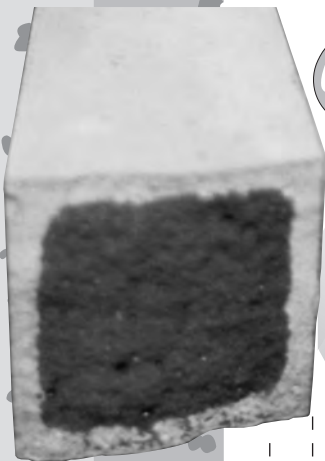
コンフィックスSM-7Wは、水系の特殊シラン系化合物を主成分とした浸透性吸水防止材です。

コンクリートをはじめ、モルタル、ALC、レンガ、漆喰等の無機質構造材に処理することにより、躯体中の無機成分と結合して固化し、美観を損うことなく構造物に吸水防止層を形成する反応性の保護材です。

水系ですので施工はとても簡単で安全。

各種仕上げ塗材を施工することも可能です。

- 優れた(4~5mm)浸透性を持っています。
- 防水層が雨水等の侵入を防ぎます。
- 優れた通気性を持っています。
- 鉄筋の腐食を防止します。
- 現状の外観を損うことなく仕上がります。



4~5mm 浸透して形成された防水層

コンフィックスSM-7W

■特長

●水系で優れた浸透性を持っています。

水系で、分子構造が10オングストローム程度と非常に小さいため、すばやく浸透します。

●雨水等の外部からの水の侵入を防ぎます。

コンフィックスSM-7Wの吸水防止層は、雨水の侵入を確実に防ぎます。

●優れた通気性を持っています。

表面被覆形や充填形と異なり、コンクリート中の無機成分と反応して撥水力をだすため、水は通さず、高い通気性は保持します。

●耐久性に優れた保護層を形成します。

処理面内部に深く浸透した保護層は、紫外線の影響を受けにくく、また、熱や温度変化に対しても影響されず、長期間吸水防止性能が持続します。

●現状の外観を損うことなく仕上がります。

コンフィックスSM-7Wは無色透明、またコンクリートとの反応で変色することはありません。躯体表面はそのまま外観を維持します。

■標準施工工程

| 工程 | 材 料 名 | 調合割合 | 所 要 量 | 塗回数 | 間隔時間 | 施工用具 |
|-------|---|-------------|--|-----|----------------|-------------------|
| 下地調整 | コンクリート面の巣穴、ジャンカは同色で吸込みが同程度のセメントペースト、モルタルで補修してください。はり、突き出し部分、木繊維等の除去には、ディスクサンダーを使用せず、タガネではつり取ってください。 | | | | | |
| 洗 浄 | 汚染物質を洗浄し、十分に乾燥させる。 | | | | | |
| 上 塗 り | コンフィックスSM-7W | 15kg 無希釈 | 0.25~0.35kg/m ² 43~60m ² /缶 | 2 | 2時間以上 6時間以内 | 中毛ローラー エアレス・刷毛 |

■適用下地

現場打ちコンクリート、PC、モルタル、石綿スレート、レンガなど

■包装単位

コンフィックスSM-7W……………15kg缶

■施工・保管上の注意点

【塗面の調整(新設)】
①素地に付着している塵、汚れ、油脂類、レタンス等を完全に除去して下さい。
②セメント質下地は、表面の含水率10%以下(pH10以下)になるまで放置して下さい。下地モルタルは十分に乾燥させて下さい。モルタルの乾燥期間は、夏期で1週間、冬期で2週間以上必要です。コンクリート下地は、夏期で2週間、冬期で3週間以上乾燥が必要とす。
③雨上がり後は、均一に乾いてから施工して下さい。
④打放しコンクリート面は、できる限り均一な面であることが望ましく、巣穴、ジャンカがないことが理想ですが、補修する場合は躯体と同色で吸込みが同程度のセメントペースト、モルタルで補修して下さい。
⑤目印にはコンクリートの表面を汚す塵、傷をつけるケガキは避け、コンクリート面に跡が残らないものを使用して下さい。
⑥塵上防水、目地排水管など水の浸透が予想される箇所については、事前に十分点検し適切な処置をして下さい。
⑦使用シーリング材の種類により塗膜のひび割れ、剥離、ブリード等の異常を生じる場合があります。あらかじめ塗膜仕様を確認して下さい。
⑧はり、突き出し部分、木繊維などの除去には、周りを傷つけないようディスクサンダーを使用せず、タガネではつり取って下さい。
⑨離型剤、油脂等が付着している場合、シンナーで拭き取って下さい。
⑩破損部分、亀裂部分、巣穴はモルタル又はセメントプロで補修して下さい。この時、補修面がそのまま残りますので、できるだけ色を合わせて補修して下さい。
⑪エフロ(白華)、レタンスは、ワイヤブラシ、サンドペーパー、サンダー等でけずり落として下さい。又、エフロが固着して除去するのが困難な場合には、予め表面に散水して飽水してから0.1N程度の稀塩酸を布に湿し、表面を軽く拭き、ただちに水洗いをして下さい。酸洗いをする場合は梅雨期の湿度の高い時期は控えて下さい。
⑫欠損部分がひどい場合は、ポリマーセメント比5%以下の補修材による処置を施して下さい。
【材料の保管・管理】
①開缶した材料は必ず密封し、直射日光や雨露を避けて保管して下さい。
②材料の保管は凍結や温度上昇による変質を避けるため、気温5~35℃で、密封のまま直射日光を避け、屋内に貯蔵して下さい。長時間貯蔵したものは十分攪拌し、変質の有無を確認して下さい。
【施工】
①気温5℃以下、降雨、降雪、強風下および湿度85%以上の場合、または予想される場合には施工を避けて下さい。また作業後に、降雨、降雪の恐れがある時は雨(雪)養生をして下さい。
②材料は使用前に十分攪拌し、均一にしてから使用して下さい。
③コンフィックスSM-7Wは、希釈しないで使用して下さい。
④塗付けは必ず2回塗りまたは下地の状況(ALC、軽量コンクリートブロックなど吸込みが著しい場合等)によっては、3回塗りして下さい。塗布量は下地の種類によって工程表の標準値よりも増えることがあります。
⑤新しいコンクリート、モルタル面は、夏期1週間、冬期2週間以上放置乾燥後塗布して下さい。下地に水分があると浸透を阻害しますので十分に下地を乾燥させてから塗布して下さい。

⑥材料は付着乾燥しますと取れませんが、完全に養生をして下さい。塗付面周辺の養生を完全に行ない、施工時建物の周辺に飛散しないように注意して下さい。また、塗付後は、速やかに養生紙や養生テープを取り除き清掃して下さい。
⑦乾燥時間は、温度、湿度、および、風等により差異を生じます。
⑧コンプレッサーを使用する場合は必要十分な能力のものをご使用下さい。
⑨下地は十分に乾燥してから施工して下さい。乾燥不十分の場合、色ムラ、剥離等の生じる原因となります。
⑩本施工に入る前に試験塗りをし、塗布量を確認して下さい。
⑪常に騒音が発生する地域・時期での施工は避けて下さい。
⑫安全衛生上の注意事項については、容器の表示も合わせてご参照下さい。
⑬塗装下地の差によって、塗布量が変わる場合があります。
⑭塗装間隔は厳守して下さい。層間密着性の低下の原因となります。
⑮使用した器具類は直ちに洗浄して下さい。放置しますと硬化して洗浄することが難しくなります。
【安全衛生上の注意】
①取扱いは、できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて防塵マスク、保護メガネ、保護手袋を着用して下さい。
②取扱後は、手洗い及びうがいを十分に行って下さい。
③子供の手の届かない所に保管して下さい。
④作業中・作業後は十分換気を行って下さい。
⑤廃塗材、廃容器、洗浄水等は、産業廃棄物処理業者に委託して処理して下さい。
⑥目に入った場合には、直ちに多量の水で15分以上洗い、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
⑦誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診断を受けて下さい。
⑧中身を使い切ってから廃棄して下さい。
⑨皮膚に付着した場合には、直ちに石鹸と多量の水で洗い落とし、痛み又は外観に変化があるときは医師の診断を受けて下さい。
⑩臭い、蒸気等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
【その他】
①塗布用具や容器は洗浄で、乾燥したものを使用して下さい。また、用具の洗浄は、ラッカーシンナーでして下さい。
②ガラス、プラスチック、金属及び木材には養生して下さい。これらに付着したコンフィックスSM-7Wを除去する場合は、ラッカーシンナーを使用して下さい。
③その他、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせ下さい。
④施工に際し、施工・管理上の詳細な注意点については仕様書等をご確認下さい。
⑤施工に際し、安全衛生上の詳細な注意点については安全データシート(SDS)をご確認下さい。

2023年4月1日よりシーカグループの株式会社ダイフレックスは日本シーカ株式会社に統合され、新たにシーカ・ジャパン株式会社としてスタートいたしました。

製品・工法に関するお問い合わせは
ホームページのお問い合わせフォームよりお願い申し上げます。
<https://jpn.sika.com/ja/system/contact-us.html#construction>



(25.6月現在)25.06.100 SJ